



「めざせ、子どもシェフ！食と農のとびっきり体験」第3回。“お味噌汁+野菜”で一日を始めよう」から。LINEでの自炊報告、zoomを使った「おしゃべり会」、番外編のお店訪問も組み合わせて、多いに盛り上がっている。若干名の受講生も募集中。

市民研
NPO法人 市民科学研究室

Information

外環道大深度地下トンネル工事による建物損傷 —その全容を把握するための住民調査・中間報告

- 主催：外環振動・低周波音調査会
- 2022年7月23日（土）18:00-20:00
- 場所：調布市東部公民館 学習室（定員45人）
- 資料代：500円（現地参加とオンラインを併用）
- お申し込み：市民科学研究室ウェブサイトの広報ページより

地元住民とNPO法人市民科学研究室とで結成された「外環振動・低周波音調査会」は、先に、騒音・振動・低周波音によってもたらされた健康影響の調査を実施し報告しました（2021年12月11日）。今回はそれに引き続いて、調布市内のエリアを中心に、約200戸の建物について、擁壁、ブロック塀、外壁、側溝など、外から目視できる部分を中心に、発生している様々な損壊やズレ・歪み・傾きなどを詳細に調べました。シールドマシンによる地下でのトンネル工事が地上に何をもたらすのか—今後、専門家による検証もふまえて、しっかりと解明しておかねばなりません。この中間報告はその第一歩となるものです。



Information

7/25(金)第42回市民科学入門講座

獣害対策の真相から見てくる現代社会の問題と希望

- 講師：弘重 穰さん（一般社団法人 獣と地域 理事）
- 2022年7月25日（月）19時より オンラインにて
- お申し込み：市民科学研究室ウェブサイトの広報ページより

サル・シカ・イノシシなどの野生獣が、農作物を食べつくしてしまったり、住宅街に出没して住民がパニックになってしまったりといった問題が全国的に広がっています。こうした獣害の対策として、「増えてしまった獣をどんどん駆除しよう」とか、「駆除した獣の肉を売れば一石二鳥」みたいな語られ方が一般的に多く見られます。しかし、その考え方では問題は解決しません。一方で、普通に考えれば「あたりまえなこと」を理解すれば、獣害を克服する道が開けてきます。それを実践し、さらには獣害をきっかけにして地域に希望の光を創り出している町もあります（その様子が先日、NHKスペシャル「獣害を転じて福となす〜雅(まさ)ねえと中国山地の物語〜」で放映されました）。今回は、そんな獣害対策の真相を具体的に見ていくことで、現代社会に生きる多くの人々に共通する様々な問題や希望を再発見していきたいと思います。



【写真】大磯町ホームページの「獣害対策講習会の実施状況」より

Information

高木仁三郎市民科学基金にて、市民研代表の上田による発表2件

「外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握とそれへの対策に関する調査」

- 2022年度助成の公開プレゼンテーション（7/30）
- 2021年度助成の成果発表会（9/4）

2020年10月18日に東京外環道地下トンネル工事によって調布市で陥没事故が起きた。市民科学研究室はその翌年、陥没事故エリアの被害住民らの有志と「外環振動・低周波音調査会」を結成し、2021年に低周波音の健康被害を把握するための詳細な聞き取り調査、2022年に建物に生じた損傷の全容を明らかにするための見回り調査を実施した。これは、高木仁三郎市民科学基金の助成を受けての調査活動であり、その成果を2022年9月3日4日の両日にわたって実施される「成果発表会」で報告する。また、それに先立って、この助成支援を次年度も受けることができるように、7月30日の「公開プレゼンテーション」にも臨んだ。幸い、2022年8月から2023年7月まで継続してご支援いただけることが決定した。引き続き、この調査にご注目ください。



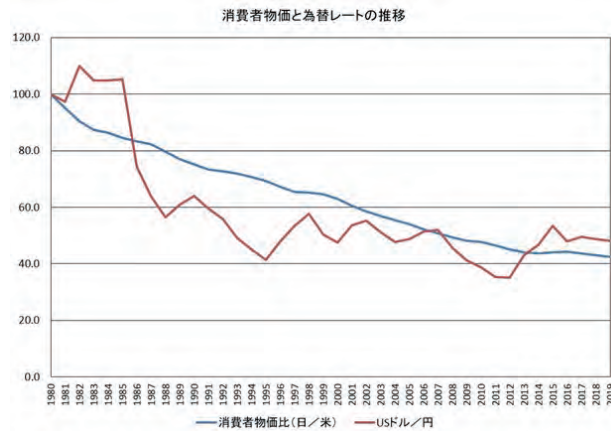
Information

8/8(月)第43回市民科学入門講座

物価、金利、外国為替相場の不思議な動きの裏にあるものは？

- 講師：桑垣 豊さん（NPO法人市民科学研究室・特任研究員）
- 2022年8月8日（月）19時より オンラインにて
- お申し込み：市民科学研究室ウェブサイトの広報ページより

アメリカの物価上昇率は日本よりもずっと高いのに、円安になっています。価値が下がっているのになぜドルのほうが高くなるのか。アメリカは公定金利をあげているのに、日本はあげていないからだ、という説明だけで納得できるでしょうか。物価、金利、外国為替相場をめぐる経済現象は、専門家によって説明がちがっていて、よくわかりません。ミクロとマクロの見え方の違い、制度設計の問題、投機マネーの思惑などに整理して、説明を試みます。連載「21世紀にふさわしい経済学を求めて」第8・9回が関連します。



市民研へのご入会／ご寄付のご案内

市民研の活動は会員となってくださる方々の会費やご寄付によって支えられています。

市民研の活動にご賛同いただける方、支援をしていただける方には、ご入会やご寄付をお願いいたします。

ご送金・ご入会・ご寄付につきましては以下のやり方をお願いしています。

- 100円単位の送金 100円単位のカンパや少額の送金（郵送料など）にご利用ください。

市民科学研究室の新しいウェブサイトのメインメニューに「ご支援のお願い」があります。そこから「市民研オンラインショップ」のサイトに繋がります。そのなかに、「一口100円ご送金」のカードがありますので、ご利用ください。

- 会員登録 年会費を送金して次のいずれかの会員になることができます。

- ★正会員（レイチェル会員）……年会費 10,000円（議決権、動画見放題、参加費無料）
- ★賛助会員Ⅰ（ファール会員）……年会費 5,000円（動画見放題、参加費無料）
- ★賛助会員Ⅱ（ダーウィン会員）……年会費 3,000円（参加費無料）

会員になると、以下のサービスを受けることができます。

1. 隔月の機関誌『市民研通信』の送付（会員は全文アクセス可、非会員には有料の記事論文あり）
2. 市民研メーリングリストへの全会員の登録
3. 市民研の各種研究会への参加（オンラインでの参加はすべての会員は無料）
4. 市民研のイベント動画がいつでもどこでも見放題（レイチェル会員とファール会員のみ）
5. 市民研が刊行した出版物の寄贈（レイチェル会員のみ）
6. 市民研主催の市民科学講座・各種イベント・研究会での配布資料、市民研の代表や理事メンバーらが講師として招かれた講演などの配布資料のうち、公開可能なものから精選して送付
7. 市民科学研究所蔵の書籍・文献資料や映像資料の借出し（期限1ヶ月）

- ご寄付 一口1,000円から受け付けております。ご送金の方法は以下のいずれかをお願い致します。

郵便振替用紙にて……口座加入者名：市民科学 振替口座番号：00160-4-608503

クレジットカード決済……市民研サイトのオンラインのカートより（「ご寄付・ご支援」コーナー）

お持ちの銀行口座から……「ゆうちょ銀行」支店名：〇一九 口座番号：608503 宛に

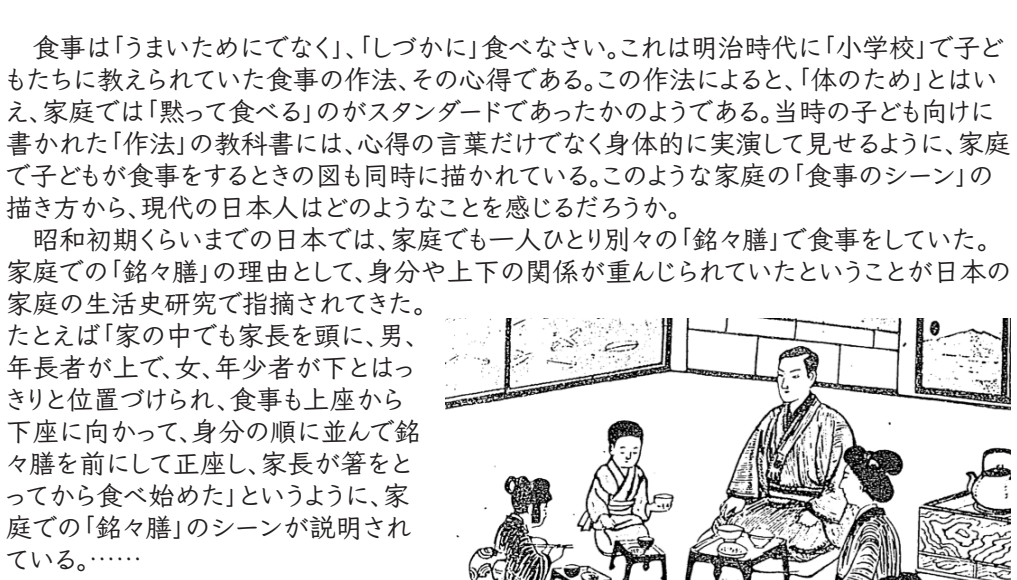
NPO法人 市民科学研究室 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-14-9 角田ビル2F

Tel: 03-5834-8328 Email: renraku@shiminkagaku.org

【連載】美味しい理由―「味の素」の科学技術史 第5回

「食事のシーン」を描くことができるか

「ちゃぶ台」以前 家庭における「銘々膳」
一、食物は、なるたけしづかに、すこしづつよくよくかんでからのみこみ、茶づけなどにして、はやくたべるは、体のためになりませぬ。
(中略)
一、食事は、口の中でうまいためにたべるでなく、体をこやし、これを保つためにたべるのであることをわすれなさるな。 (『小學兒童作法訓畫「食事の心得」、明治35年)



【続きは市民研HPにて】

根本的に社会構造を変えるなら（前編）

～最小限の投資で最大限の効果を～

地域の農林水産業、人・モノ・カネの経済活動、エネルギー需給、資源循環、など幅広い分野について市民の視点から『地産地消』をキーワードに、『自分の専門分野の常識は他分野のイノベーションの素である』ことを標榜し、様々な分野横断的な見地からの知識、知見、意見などを交換し合うことで、分野単独では不可能だった新しい手法の開発や発見、相互発展的なアイデアの創出を目指し、今後の市民生活の向上や地域社会のみならず日本の発展に資することを目的とすることが肝要である。

(1)【熱】:Commonsから得られる再生可能エネルギー

我々は身の回りにある未利用エネルギー、特に熱エネルギーの利活用に目を向ける必要がある。化石燃料や鉱石は【私有地】から掘り出され、その採掘地には所有権が設けられ、それ自体は土地の所有者の私的財産であると見做される。翻って再生可能エネルギーはどうだろう。確かに森林資源には私的所有権が認められており、日照権や水利権、温泉地などでは源泉の所有権といった個人或いは一定の規模の集団に対して付与されている。しかしながら風や環境中の熱には所有権を主張することができない。それらは私有することが不可能なのだ。つまりこれらは【Commons】に属するエネルギーなのである。……

【続きは市民研HPにて】

【連載】日中学術交流の現場から 第十一回

北京からゴジラ同級生俳優、宝田明さんへの手紙（第二便）

はじめに
拝啓 宝田明さま

前回は、宝田さんへの手紙の中でハルピンでの経験から「ソ連への憎しみが消えない」と語っていた宝田さんとソ連訪問記を書いたアンドレ・ジッドを最後に取り上げました。
この手紙を宝田企画の事務所に送ったのが、2022年3月10日のことでした。いつもならすぐ電話がかかってくるのに、今回、電話はなかったので、「どうされたのかな」とは思っていました。宝田さんが、3月14日になくなったという訃報を目にしたのは、その一週間ほど後のことです。そしてロシア軍が、ウクライナ侵攻を開始したのはそのちょうど20日ぐらい前の2月24日のことでした。本当に21世紀の出来事なのかと疑いたくなります。
このとき宝田さんは、すでに具合がよくなかったのですね。一年前、電話で話をしたときは、あんなにお元気そうでしたのに。享年87歳でした。前回、手紙の中で宝田さんのことを『『ゴジラ』(1954)関係者のなかで「最古の生物」と書きましたが、すでにそうではなくなってしまったことが、私には、残念でなりません。ついに私が、考えていた宝田さんを北京に招いて講演してもらうという企画は実現できなくなりました。……

【続きは市民研HPにて】

携帯基地局に関する

問い合わせへの対応について

最近、市民科学研究室に「自分の住まいのすぐそばに携帯基地局が設置された／設置されることになった」「健康への影響が気になるが、大丈夫なのか」「(基地局に土地を提供している)地権者に交渉してみたいが、どう伝えればいいのか」といった問い合わせが増えていきます。

もちろん、基地局設置の問題は20年ほど前から日本全国各地で絶えることなく発生してきました。そのなかには、近隣住民の反対運動が高まることで、その地点における基地局の設置計画を撤回させたり―携帯通信事業者は近隣の他の地点での設置に改めて動くことになるが―、場合によっては既設の基地局が地権者との契約の更新に至らず撤去されたり、といった事例も含まれていますし、そうしたトラブルの多発があったからこそ、全国の自治体で携帯基地局設置やその運用に関して条例を定めるところが少なからずあるのもそれ故です(※1)。

基地局設置数の推移は「WiFi比較ナビ」のグラフでみるように(※2)、4G/LTEと5Gの基地局に関してここ数年でも増加の一途をたどっており、とりわけ各社が新たに5Gの基地局を設置するようになったこと、そして新規参入の事業者である「楽天モバイル」がここ1,2年でその数を急増させていることが、この問題での問い合わせが増えていることと関係しているものと思われます。……

【続きは市民研HPにて】

連載 21世紀にふさわしい

経済学を求めて 第16回

第9章 労働と賃金(つづき)
9－5 労使の力関係

生産設備の生産性が高まる一方、人口が増えないということは、設備投資の額が減っても生産力は維持できる。その結果、生産にしめる労働の比重は高まり、労働分配率が少しずつ上らなければ、経済のバランスはくずれる。生産力に対する購買力の減退つまり需要不足である。
労働分配率が下がるということは、労働所得に対して、資本所得(利子や配当)・内部留保(企業の貯蓄)が増えることを意味する。欧米では、資本所得の大きさが問題になっており、家計の格差が深刻であるが、日本では巨大な内部留保が問題になっている。日本に比べて欧米のほうが賃金が上っているというが、GDPの伸びに比べれば停滞・低下しているのは同じである。需要不足では、労働力と生産設備(資本)があり、労使の力関係では労働者が弱り、金利も低くなる。

賃金を上げるべきときに交渉力が弱まるのが、景気回復を遅らせる原因である。そういう意味では、全国的に賃金水準を上げる「春闘」には大きな意味がある。生産性にかかわらず一律に交渉する意



【続きは市民研HPにて】

『Atomic Doctors: Conscience and Complicity at the Dawn of the Nuclear Age』の紹介文

2020年に刊行された『Atomic doctors : conscience and complicity at the dawn of the nuclear age』(James L. Nolan Jr., The Belknap Press of Harvard University Press)は、マンハッタン計画に参加し、原爆投下直後の日本へも調査に訪れた米国人医師の行跡と彼が残した資料を紐解きながら記録として掘り起こした、大変読み応えのある書物です。その日本語訳『原爆投下、米国人医師は何を見たか:マンハッタン計画から広島・長崎まで、隠蔽された真実』(ジェームズ・L・ノーラン著、藤沢 町子 翻訳、原書房 2022年)が最近発刊されました。原著の版元で開設しているHarvard University Press Blog で2020年の8月6日付で「Remembering Hiroshima」と題した文章で、この本を詳しく紹介していましたので、それを以下に翻訳しておきます(翻訳:上田昌文、以下の訳文中の[]は訳者の注釈)。

広島を思い返すこと

75年前のこの日、アメリカは世界初の原子爆弾を日本の広島に投下しました。ジェームズ・L・ノーラン・ジュニアの祖父はマンハッタン計画に参加した医師です。ジェームズ・L・ノーラン・ジュニアは、マンハッタン計画に参加した医師たちが直面した道徳的・職業的ジレンマを赤裸々に検証した『アトミック・ドクターズ:核時代の夜明けにおける良心と共犯』(ハーバード大学出版局)の中で、その祖父について書いています。以下でノーランが自著を紹介しています。……

【続きは市民研HPにて】

